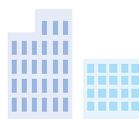


# まちの話題



## 国東町赤松区「植樹の集い」

11月14日(土)、国東町赤松で京一川砂防ダムの完成を記念して、桜ともみじの植樹を行いました。地区の方や子ども会、集落応援隊で交流のあるソニーセミコンダクタ九州(株)大分テクノロジーセンターの社員や家族の皆さん、県・市関係者など52人が参加し、60本の苗木を手分けして植えつけました。また、周辺には菜の花の種をまきました。植樹が終わると集会所に移り、ソニーの皆さんが作ったポップコーンやあかまつ米の新米で作ったおにぎりを食べて交流会を行いました。



ヒマワリの種から油をしぼる様子

## ヒマワリの種から油しぼり

11月5日(休)、武蔵西小学校1・2年生13人が生活科の授業で、ヒマワリの種から油をしぼる体験をしました。授業は、環境保全活動に取り組む国東エコシステム(株) (国東町浜崎・西田正孝社長)の協力で行われました。7月に種をまき10月に収穫し乾燥させたヒマワリから、網を使って種を取り出し、唐箕(とうみ)で選別したものを搾油機に入れると、黒い油が出てきました。

## 国東高校 ロボット相撲・競技全国大会出場報告



10月29日(休)、全日本ロボット相撲大会と全国ロボット競技大会に出場する国東高校の生徒14人が市役所を訪れ、野田市長に出場報告をしました。3年生の小田一貴君、川部正太君が「昨年より良い成績が残せるよう頑張ります」と決意表明し、野田市長が「今回も全力を尽くして優勝目指して頑張ってください」と激励しました。